

教養講座 地元学を考える

第百五十二回「地元学を考える」
(二〇一六年八月二十日開催)

「福島から世界へ」
—大七酒造の挑戦—
講師 太田英晴さん

去る八月二十日(土)に行われた標題の講義に参加した。資料を頂き、まず思ったのが県内屈指の企業である大七酒造さんの挑戦とはいかなるものであるのか?興味があるって臨んだ。冒頭、講師である太田社長から「つくると」という漢字の成り立ちについて説明を頂いた。一つ目は「作る」。これは「へん」の「人」が、「つくり」の「乍」の部分を竹に見立て、人の手で作る・つまり、人の手を介す事として使用する漢字との事。二つ目は「為る」。これは人が象に乗って大規模工事を行う、いわば工事車両を駆使した「人」のみの力では不十分な時にこの字を用いるらしい。そして最後に「造る」。これは、「つくり」の「告」を神事などに使われる神

に見立てた、要するに現実の世界では創造出来ないような時に使う字句との事。すなわち日本酒は、祖先に祈る事によってもたらされるある種の神聖な行為と理解した。

その神々しい行いに対して大七酒造さんでは、先人の知恵を受け継いだ昔ながらの「生もと」製法にこだわっており、業界ではオンリーワンのポジションを確立、名誉ある賞を幾つも受賞している。

しかし、そこに至るまで幾つもの試練があったらしい。その試練に果敢に挑戦して結果を出している今回のテーマに対して、僭越ではあるが感想を記そうと思う。

講義を受ける中で、大きく二つの試練とそれに対する説明があったように思う。一つは一九八〇年代の

国際的な自由競争の激化と国内でのデイスカウントストア出現による安値競争に伴う収益改善である。それまで日本酒業界は比較的穏やかな市場だったと言う。ところが、サッチャー首相の強力なスコッチの市場開

放アブローチをはじめ国際競争の渦の中へ巻き込まれた。頼みの国内市場は、値崩れの一途。そこで大七の挑戦は、海外向け・国内向け「売れる」商品の開発及び販売チャネルの開拓であった。さまざまな技術試行を重ね、ようやく原料の米に付着するヌカを全面的に取り除く超偏平精米技術に成功、高評価を得るまでに確立。それを基にした「大七生もと」は同社の主力製品になっていく。ここで感じた事は、飽くなき「挑戦」のスピリットは凡人の私には到底マネの出来ない素晴らしい力を持った集団だな・・・という事であった。日本文化の代表的象徴である「SAKE」をどうやって海外ウケさせるか・並々ならぬマーケティングと商品のコンセプト作り、不可能に近い技術を完遂させ販売ルートを確立させた・・これはまさしく、「挑戦」であったと思う。深く感銘を受けたエピソードであった。

第二の挑戦は、二〇一一・三・一一の東日本大震災・福島原発事故である。日本酒は熟成に時間を要し、酒蔵で長期間保管する。そこで同社は、十年に一度は来るであろう大地震に備え、

酒瓶をラップに巻き厳重に

固定する措置をしていた。それが奏功したか、震災時の落下事故は皆無であったという。そして放射能対策として、情報をにぎるやいち早く(一)外作業は室内に収束(二)空調は止め外気遮断、更には(三)全換気扇の目張り(四)情報を記入した黒板を携えての工程の写真撮影とリアルタイムな同社のホームページ掲載といったきめ細やかな顧客対応を行った。また、同社の所在する二本松市に避難した方々の為、延べ一万二千人分の甘酒を提供した。同社も被害者ではあるが、人を助ける活動への挑戦、このような細部に亘る配慮が大七ブランドを支えているのであろう。

最後に、太田社長はどのように纏めた。「大七は老舗であるが、ベンチャースピリットを忘れない。伝統技法を守りながらも、それをその時代の顧客にどのように工夫して満足頂ける商品を提供できるか?それが大七の挑戦である」と。(鈴木英生)

第百五十二回の感想はまちなか夢工房PC班の鈴木さんに寄稿していただきました。ありがとうございました。

教養講座 地元学を考える

第百五十四回予告

エシカルなものづくり

<講師> 大竹 愛希さん (合同会社楽膳代表、NPO 法人シャロームスタッフ)
<日時> 2016年10月15日(土) 13:30~15:00
<会場> まちなか夢工房2階 <参加費> 500円

<講演内容>

シャロームと会津漆器職人が共同で立ち上げた食器ブランド RAKUZEN (楽膳)。障がいを持つ仲間と一緒に開発するのが特徴の本格漆器のシリーズです。エシカルな(社会貢献性のある)ものづくりのスタイルが評価され、近年は数多くの賞を国内外で受賞しました。楽膳のデザイナーであり代表を務める大竹がこれまでの取組みと現在の課題を報告いたします。また、参加者のみなさんと一緒に簡単なワークショップも行います。みなさんのアイデアから新商品が生まれるかもしれませんよ!

*参加人数把握の為、地元学講座各回ごとに出欠のご連絡をいただければ幸いです。(tel 024-524-2230 または fax 024-525-8285 までお願いいたします)

10月25日(火) 9:00~18:00

焼きたてパン 全品半額

シャローム福祉会 まちなか夢工房

空くじなしの豪華抽選会!

先着100名様にご来店プレゼント!

〒960-8035 福島県福島市本町5-31 024-524-2230